

事務事業評価シート

No.	事務事業名	所管部課
7	敬老金贈呈事業	健康福祉部 高齢者支援課

事務事業の概要	事業の目的		根拠法令等																							
	西東京市に住所を有し、満88歳及び満100歳を迎える高齢者に西東京市敬老金を贈呈し、敬老と長寿等を祝う。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領																							
	事業の概要																									
	■事業概要 毎年9月上旬から中旬にかけて、88歳の方には民生委員からメッセージカードと1万円を、100歳の方には市長又は市職員からメッセージカード等を添えて5万円を戸別訪問により贈呈している。可能な限り本人に面会した上で贈呈することとし、100歳祝金については、全件を所在確認し、贈呈している。 ■過去の見直し経過 平成25年度から77歳への敬老金贈呈(1万円)を廃止。 ■今後の見通し 高齢者人口の増加のため、対象者は今後も増えていく見込みである。  <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H28年(実績)</td> <td>→</td> <td>H29年(実績)</td> <td>→</td> <td>H30年(実績)</td> <td>→</td> <td>R元年(予算額)</td> </tr> <tr> <td>88歳</td> <td>805人</td> <td></td> <td>814人</td> <td></td> <td>859人</td> <td></td> <td>990人</td> </tr> <tr> <td>100歳</td> <td>33人</td> <td></td> <td>44人</td> <td></td> <td>42人</td> <td></td> <td>73人</td> </tr> </table>				H28年(実績)	→	H29年(実績)	→	H30年(実績)	→	R元年(予算額)	88歳	805人		814人		859人		990人	100歳	33人		44人		42人	
	H28年(実績)	→	H29年(実績)	→	H30年(実績)	→	R元年(予算額)																			
88歳	805人		814人		859人		990人																			
100歳	33人		44人		42人		73人																			
事業開始時期	合併以前	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )																							

項目	単位	28年度 (決算額)	29年度 (決算額)	30年度 (決算見込み額)	令和元年度 (当初予算額)
事業費(A)	千円	10,243	10,948	11,292	14,341
内訳 主要な経費: 報償費(敬老祝金)		9,700	10,340	10,690	13,550
内訳 その他: 臨時職員賃金他		543	608	602	791
財源内訳 国庫支出金・都支出金	千円	0	0	0	0
財源内訳 地方債		0	0	0	0
財源内訳 その他 ( )		0	0	0	0
財源内訳 一般財源		10,243	10,948	11,292	14,341
所要人員(B)	人	0.87	0.87	0.87	0.87
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	6,488	6,666	6,727	6,878
総コスト(D)=(A)+(C)	千円	16,731	17,614	18,019	21,219
単位当たりコスト (E)=(D)/ (対象者一人当たり)	千円	20	21	20	—

指標名	単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度
①88・100歳合計対象者	実績値 人	838	858	901	
	実績値				
《指標とした数値変化に対する要因分析など》					
①高齢者人口の増加に伴い、敬老金贈呈対象者の数も増加を続けている。					
①の内訳 28年度 88歳:805人・100歳:33人 29年度 88歳:814人・100歳:44人 30年度 88歳:859人・100歳:42人					

事業環境等	他団体のサービス水準との比較 (平均値との比較、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	敬老金贈呈額の合計額(生涯で受け取れる敬老金を全て受け取った場合)が多摩26市中第5位でありサービス水準は高い。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	祝金以外にギフト券や祝品の贈呈が行われている。

**【一次評価】**

検証項目	判定	判定理由
事業の必要性	普通	高齢者の敬老と長寿を祝うとともに、安否・所在確認につながる事業である。
実施主体の妥当性	適切	市として、高齢者の敬老と長寿を祝う事業であり、代替性はない。
事業(補助)の対象	適切	長寿を祝う節目の年齢であり適切と考える。
事業(補助)の内容	課題有	対象者数の増加により、戸別訪問による贈呈や現金の保管といった課題がある。
受益者負担	—	—
事業コスト	高い	一人当たりの贈呈額の合計額(祝品相当額を含む)が26市中第5位と上位にある。
業務負担	重い	敬老金贈呈者の増加に伴い、民生委員や職員の業務量も増加している。
一次評価	評価の判断理由及び現状の課題など	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	今後の高齢者人口の増加により、事業費も右肩上がりに増加していくことが見込まれる。高齢者の敬老、長寿を祝う事業として、引き続き実施していくため、他市状況等も踏まえ改善、見直しを図る必要があると思われる。	

**【二次評価】**

検証項目	判定	判定理由
事業の必要性	普通	高齢者の敬老、長寿等を祝う事業であり敬老金の贈呈によらない方法も検討すべきである。
実施主体の妥当性	適正	市として、高齢者の敬老と長寿を祝う事業であり、代替性はない。
事業(補助)の対象	適正	長寿を祝う節目の年齢であり、適切と考える。
事業(補助)の内容	課題有	敬老金贈呈対象者の増に伴い、事業費の増加や現金管理等の課題がある。
受益者負担	—	—
事業コスト	高い	贈呈に係る職員の所要人員も含めコストは高いと考える。
業務負担	重い	今後、対象者の増加に伴い、業務負担はより重くなっていくことが見込まれる。
二次評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題、今後改善すべき点等	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は、高齢者に対し敬老と長寿等を祝うことを目的としているほか、安否・所在確認等にもつながっている。敬老金の贈呈対象となる88歳・100歳人口は、今後も増加が見込まれており、戸別訪問を原則とした実施方法は、現金の管理や配布方法といった課題が出てきている。引き続き、高齢者の長寿を祝う事業として、継続的に実施できるよう、他市事例なども参考に、抜本的な見直しを図る必要がある。	

**【外部評価】**

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

**【行革本部評価】**

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

**【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】**

改善の方向性・スケジュール	
---------------	--